

Weekly Michael's News

<今週の聖句>

2018年1月22日発行 No.62

『イエスは、「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われた。二人はすぐに網を捨てて従った。』

(マルコによる福音書 1:17~18)

<23年前の痛みを心に刻みつづ…。1,17 阪神・淡路大震災 追悼記念礼拝&写真展を挙げる!!>

今年も特に神戸にとって大切な意味を持つ1月17日を迎えました。23年前に起こった阪神・淡路大震災を覚えて、阪神間各地で追悼記念式典が行われました。KIUのチャペルもその例に漏れず、昼礼拝で震災を覚えて祈りを合わせました。また、近年の課題である「震災記憶の継承」(今年のテーマは「伝」でした)に協力する意味で、写真展を開催しました。チャペルを訪れた学生(皆震災後生まれ!!)も、固唾を呑みながらその写真を見つめていました。痛みを通して神戸は本当に大切にすべき「命」を見つめ続けてきたように思います。KIUもその文化を共に担って行きたいと思います。



雨の中で輝く「伝」の灯籠文字



チャペルでも写真展を開催しました



震災当時の写真を見つめる学生たち

<有意義な学びと出会いを求めて…。留学セミナー(研修基礎) 壮行礼拝で目的と志を確認!!>

先週水曜日の夕方、チャペルには珍しく学生が集いました。この春休みを利用して短期間の留学(タイ・ベトナム・韓国の3コース)に参加する学生のために壮行礼拝が行われたのです!! 礼拝の中では、下田経済学部長の「KIUの学生として自覚と責任を持って行動できるか?」の問いかけに対し、大きな声で返事をしていた学生たち。昼の礼拝にもよく顔を見せてくれる学生の姿も見られ、その意欲的な姿勢が留学にも繋がっている事に嬉しさと頼もしさを感じました。近年、東アジア近隣諸国の間で不安定な情勢が続いています。しかし、そのような時代だからこそ、一人でも多くの学生が異なる文化や歴史を持つ国の人々と生のコミュニケーションを経験する事が求められるのだと思います。参加される学生、また引率される先生方の上に豊かな祝福があるようお祈りしています!!



海外研修に向けて自らを見つめ直す



拙い海外の経験をお話しました



下田学部長の呼び掛けにしっかり応答

<先週のメッセージ>

※ここでは実際に話されたお話の要約を掲載しています。

1月15日(月) テーマ:「とことん全力投球・全力疾走」 箕 裕樹(リハビリテーション学部3年)

私は、昨年11月末、約3週間に亘る2回目の臨床実習を行った。実習前シミュレーションでは勉強が足りず不合格となったが、それをマイナスと捉えず「もう一度勉強のチャンスをもたらした」とプラスに捉え『とことん全力投球』で取り組んだ。先生方からも様々なアドバイス頂き、それを胸に実際の実習に臨んだ。大学で学びがどこまで活用できるか、期待と不安を胸に、臨んだが、学びはあくまでも基本の基本。実際の臨床現場では応用力が問われる事が多く、大変苦労した。実習を終えて、結果と共に自分の中でも課題が残った。4月の長期実習では、実際の治療が入るため、まさに『臨床現場』という社会へのインターンシップが始まる。正直、臨床現場に対する不安は尽きない。しかし、KIUの建学の精神でもある『神を畏れ、人を恐れず、人に仕えよ』を胸に、失敗してもそれを「マイナス」と捉えず、相手に寄り添う、まず小事を大切にしていける事から始めていきたい。



1月16日(火) ※この日は新年最初の音楽礼拝!! オルガニスト伊藤先生の演奏に耳を傾けました!!

1月17日(水) テーマ:「私たちの町『神戸』が伝承すべき想い」 野間 光顕(チャプレン)

2年前に地元関西に戻った私は、関西各都市の変化に驚かされた。駅前を中心に商業ビル等が整備され全く違う町と言っても過言ではない所も多い。そんな中、私の心に残る原風景を留めてくれている神戸の町から力を貰っている。どこか暖かい不思議な優しさを神戸はどこで培ったのだろうか? 私は23年前の阪神・淡路大震災が大きく影響しているように思う。今日は1.17。冷たい雨が降る中で震災犠牲者を覚えて地震発生時刻の5時46分に黙祷が捧げられた。追悼式典会場では、犠牲者と同じ数である6,434本の竹灯籠で「伝」の文字が組まれた。近年、震災記憶の風化が深刻な課題となっているが、そのような中だからこそ、今一度23年前の痛みを通して繋がる力と相手を思う心、相手の痛みを自分の痛みと感じる優しさを大切にしながら今日1・17を共に過ごして行きたい。

1月18日(木) テーマ:「類は友を呼ぶ」 利川 満(教学センター長)

「類は友を呼ぶ」という諺を聞いたことがあるだろうか? 同義語に「似た者夫婦」「同類相求む」等があるが、意味的には「気の合う者や似通った者同士は自然に集まって仲間を作る」ということだ。ただ、私は最近与えられた新しい交友関係の中で衝撃的な言葉に出会った。「自分を変えたいなら自分が願うような人と付き合う事を心掛けなさい。それを通して今、自分が心地良く思っている場所(Comfort zone)から脱しなさい。」私は以前から、「現実結びつく力を持つ思考に気を付ける」「常に感謝を大切にする」事を心掛けてきたが、それらをベースにしながら、今は「自分が恐れているもの、不安に感じるものと向き合う」事に取り組んでいる。これからの新しい出会いが楽しみだ。

1月19日(金) テーマ:「あなたのQoLは…?」 野間 光顕(チャプレン)

私は、5人兄弟の末っ子。家族全員が集まると、その子供も含めて30人を超える。今年の年末年始は久しぶりに皆が一同に集まり、とても賑やかな時を過ごした。皆で協力しておせちを作ったり、日頃離れている兄弟とじっくり話をしたり、甥・姪の成長に驚かされたり…。家族という暖かい繋がりの中で、ゆったりした穏やかな時間を過ごす事ができた。ふと気付くと正月の間、全くTVやPC・スマホを見る事がなかった。いわゆるデジタルデトックスで体や心が綺麗になったように感じた。振り返れば昨年は政治や企業の不正、報道の偏向など、社会全体の質の劣化が目立った年であった。新しく迎えたこの年、表面的に見えるものではなく、生活そのもの「質」(Quality of life)、学びや働きの「質」(Quality of Study・Work)に目を、そして心を配って行きたい。(文責:野間 光顕)